



あづみ

第156号

平成25年1月15日発行

議会だより



あいさつの花道(草木小学校)



2P 議長新春あいさつ



3P 主な議決内容



6P 常任委員会レポート



7P 一般質問



15P 追跡レポート



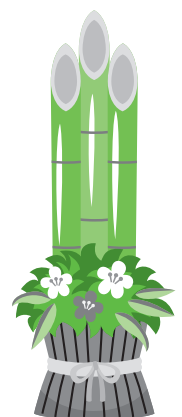
16P 学校紹介「草木小学校」

新春のあいさつ

輝く未来へ



議長 勝山 制



新年、あけましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

日頃より、阿久比町議会に対する暖かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、毎年恒例の京都の清水寺での1年の世相を漢字一文字で表すと、昨年は、「金」でありました。出口の見えない震災復興や長引く不況等何かと暗い話題が多い中、昨年は、「金環日食」での奇蹟の瞬間に日本中が固唾をのみ、オリンピックでの久しぶりの「金メダル」ラッシュに喜びを分かち合い、山中伸弥教授のノーベル医学生理学賞のまばゆいばかりのメダルの「金」の輝きに、日本人の誇りを

共有しました。

さて、昨年、あわただしい師走に行われた総選挙により、政権が交代しました。難題が山積となっている日本丸の舵取りを国民は、新しい政権に委ねました。日本の再建に向けて、克服すべき諸問題を先送りすることなく、有言実行を期待いたします。

現在、阿久比町におきましても、国家財政と同じく厳しい状況であり、苦しい財政運営を余儀なくされておりますが、住民に一番身近な行政として、住民の暮らしの安定と福祉の充実を推進していかねばなりません。

私たち、町議会といたしましては、日々変化する住民の皆さんの価値観や多様化するニーズに応えるため、時代に即した情勢分析に

心がけ、切なる要望や声に応じて行くことが使命であると認識しております。

また、想定外と形容された東日本大震災から早、2年が経過しようとしております。

しかし、原発問題も含めて復興には困難な道程が続いております。この地域も必ず起こると言われている東海・東南海・南海の3連動地震に備え、多くの尊い命が失われた被災地での教訓を胸に、自助・公助・共助の有るべき姿を確立しなければなりません。

議会としましては、町当局へのあらゆる提案や提言を通して、住民の暮らしの安全に尽力する所存でございます。

住民の視線に立った、開かれた議会であるためにも、住民の皆さま

まの忌憚のないご意見を議会に届け頂ければ、幸甚に思います。

さて、本町も今年で町制施行60周年の節目の年を迎えます。幾多の歴史が刻み込まれた60年でありましたが、めでたく還暦を迎えるにあたって、ご尽力された数多くの町民の方々に改めて、感謝と敬意を申し上げます。

この60周年を慶祝するとともに、「阿久比でよかった」と皆さまが実感される町づくりの心機一転、取り組む所存であります。

おわりにあたり、皆さまの更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。本年が皆さまにとりまして、すこやかですばらしい年になりますことをお祈りし、新春のごあいさつといたします。

平成24年 第4回定例会

可決

議員発議

阿久比町
議会議員
の定数を
定める条
例の一部
改正

議会改革の一つとして検討していくことが自然の流れである。
なぜ、今この時期にこのような手法で定数削減をするのか、全く理解できない。

賛成討論

渡辺 功 議員

提出者 久保 秋男 議員
議員定数を16人から14人に改める。

修正動議

提出者 杉野 明 議員

議員定数を14人とせず、次の選挙までに住民投票で議員定数を決める。
(賛成少数で否決)

※修正動議↓原案の順で採決を行った。

反対討論

辻 忠男 議員

議員定数は、議会制民主主義にとって最も大切に扱う必要がある、特別委員会を立ち上げ、

反対討論

澤田 道孝 議員

議員必携には「議員定数削減の流れを阻止するよう努力する」とあるのに、逆行している。議会

改革特別委員会で話し合わずに削減するのはいかなものか。また、議員を減らせば、目が届かなくなる。
この時期に、定数削減する目的が明確でない。また話し合う時間は十分ある。真の意味で、住民の負託に応えるべき。

賛成討論

大村 文俊 議員

平成23年第1回臨時議会でも、本町の人口等や他市町の状況、さらに民意等を判断すると、定数は12人が妥当であるとの持論を展開した。
議員は、さらに研鑽を重ね町民の期待に応える努力が必要。
今回の削減には大賛成。しかし、将来を見据えて、今後もさらなる削減に向けた検討を切望する。

実際に14人で議会運営をしていた事実、社会情勢や近隣市町の状況を考慮して、今回の議案に賛成する。

可決

阿久比町
条例の一部
改正

反対討論

辻 忠男 議員

スポーツ村使用料の値上げの理由に、受益者負担の原則、人件費等の高騰、施設修繕などを挙げているが、目先の費用対効果だけで判断すべきではない。

可決

平成24年度
阿久比町一般
会計補正予算

反対討論

澤田 道孝 議員

新しく設置する防犯カメラ3台のうち1台はダミーのカメラである。

ダミーは犯罪の抑止力になるが、ダミーであったために犯人がわからなくなることも起こり得る。設置するのであれば、全て本物で対応すべき。

阿久比町
選挙管理委員会

委員および補充員が決まりました。

任期

平成24年12月25日から
平成28年12月24日まで

委員

八木 晃弘
竹内 幸太郎
竹内 修身
土井 本治

補充員

加藤 三好
竹内 厚千
新美 洋子
新美 政明

(敬称略)

議員定数の変遷

過去40年の流れ



昭和46年5月～
26人

昭和58年5月～
24人

昭和62年5月～
22人

平成7年5月～
20人

平成15年5月～
18人

平成19年5月～
16人



請願

採択しない

生活保護基準の引き下げは
しないことなど国に意見書
提出を求める請願書

請願者代表 愛知自治体キャラバン実行委員会

森谷 光夫

紹介議員 辻 忠男 議員

主旨

国は老齢加算を廃止し、
毎月の生活保護費を約2
割減らした。

また、厚生労働省は年内
にも生活保護基準の引き
下げを決めようとしてい
る。

国民生活の最低保障基
準の土台をなす生活保護
制度を国が責任をもって
補償すべきである。

賛成討論

辻 忠男 議員

生活保護基準は、近年
2割削減された。一部の
不正受給問題がマスコミ
によって大々的に報道さ
れたが、不正受給はわず
か数%である。

日本経済の低迷と国民
の富が一部に偏ることに
より、生活困窮者が増加
し続けており、生活保護
制度を含む、社会福祉制
度の根本的な改善が必要
である。

生活困窮者に対して憲
法第25条を保障すること
が大切である。

陳情

◇市町村管理栄養士
配置に関する陳情書

◇介護・福祉・医療
など社会保障の施策
拡充についての陳情
書

◇安全・安心の医療・
介護実現のための夜
勤改善大幅増員を求
める陳情書

◇介護職員処遇改善
加算の継続、拡充を
求める陳情書

◇愛知県の第3子保
育料無料化事業費補
助金を継続・拡充す
る意見書の提出を求
める陳情書

◇福祉・保育労働者
の処遇改善・人材確
保に関する国への意
見書採択についての
陳情書

議案等

◎ 全員賛成可決
○ 賛成多数可決
× 否決

承認

◎ 専決処分の承認を求
めること
(平成24年度阿久比町一
般会計補正予算)

議案

◎ 阿久比町道路構造の
技術的基準を定める
条例の制定

◎ 阿久比町町道に設け
る案内標識等の寸法
を定める条例の制定

◎ 阿久比町移動等円滑
化のために必要な道
路の構造に関する基
準を定める条例の制
定

◎ 阿久比町準用河川管
理施設等の構造に関
する技術的基準を定
める条例の制定

◎ 阿久比町移動等円滑
化のために必要な特
定公園施設の設置に
関する基準を定める
条例の制定

◎ 阿久比町証人等の実
費弁償に関する条例
の一部改正

◎ 阿久比町使用料条例
の一部改正

◎ 阿久比町都市公園条
例の一部改正

◎ 阿久比町下水道条例
の一部改正

◎ 阿久比町下水道事業
給水条例の一部改正

◎ 知多地方視聴覚ライ
ブラリー協議会の廃
止

◎ 財産の交換

◎ 平成24年度阿久比町
一般会計補正予算
(賛成14名 反対1名)

◎ 平成24年度阿久比町
下水道事業特別会計
補正予算

◎ 平成24年度阿久比町
水道事業会計補正予
算

× 阿久比町議会議員の
定数を定める条例の
一部改正に対する修
正動議

◎ 阿久比町議会議員の
定数を定める条例の
一部改正

◎ 阿久比町議会議員会
条例の一部改正

請願

× 生活保護基準の引き
下げはしないことな
ど国に意見書提出を
求める請願書
(賛成3名 反対12名)

常任委員会レポート

総務建設

地域主権改革を進める

当委員会に付託された13議案を審議した。

議案の主な内容は、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」施行に伴う条例制定8議案等である。

これまで国が一律に決定し自治体に義務付けてきた基準、施策などを自治体が条例等の制定等により、自ら決定し、実施するように改め、地域主権改革を進めるためのものである。

議案第50号「財産の交換について」は、知多南

部卸売市場(株)の経営改善計画のため、半田市及び(株)知多総合卸売市場を除く1市4町が所有する株式と土地(駐車場用地等)と等価交換するものであり、1市4町の議会で財

産の交換について議決されるのが条件となる。審議の結果は13議案とも原案通り可と決した。(竹内一美議員)



「知多南部卸売市場」
株式と交換される土地(市場の駐車場等)

文教厚生

阿久比町施設使用料の一部改正

当委員会に付託された4議案、1請願を審議した。

議案の内容は、阿久比町使用料条例の一部改正、知多地方視聴覚ライブラリー協議会の廃止、平成24年度阿久比町一般会計補正予算、平成24年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算である。

施設使用料の改正ではスポーツ村、エスベランス丸山の利用料の値上げについて質問があった。

町の回答としては他市町の利用率と比べ当

町の利用率はかなり安いとのことであった。

他の議案も含め審議の結果、原案通り4議案すべて可と決した。

生活保護基準の引き下げをしないことなど国に意見書提出を求める請願書については、

財政の逼迫、利用者増大、不正受給等の問題があるとの意見があり、不採択となった。

また当委員会は来年度以降も使用することになる、城山保育園を

視察した。(都築重信議員)



使用料が改正される陸上競技場

町政を問う

ここが聞きたい



辻 忠男 議員

幼・保・小の受け入れ体制は努力している

問 保育園への受け入れは、柔軟に対応しているか。

答 翌年度の保育所入所申込み状況により定員変更をしている。

問 保育園定員増の場合でも保育内容の低下を防ぐ工夫をしているか。

答 国の基準に定められた人数の保育士を配置するため、保育内容が低下することはない。

問 宮津保育園は園児増で園庭が狭くなるが、その対策と、送迎時の安全対策は。

答 国の基準に定められた屋外遊技場の面積を満たしている。保護者には徒歩による送迎をお願いする。

問 自由契約児の待機児童対策は。

答 今後も自由契約児の受け入れに努力する。

問 幼稚園希望者は抽選ではなく定員増で対応できないか。

答 3歳児の定員を増や

して努力している。

問 小学校の入学者数を早くから把握し、対応を取るべきでは。

答 平成25年度の増加予測に対応するため1クラス増設の準備を進めている。

交通・防犯・防災は

随時対応

問 福住交差点西北のコンビニ出入口のゼブラマーク対策は。

答 東側道路からの自動車の乗り入れについて、半田警察署と協議したい。

問 高根台から白沢駅へ向かう坂道の危険性の認識は。

答 白沢駅東から知多半島道路付近までの間は、平成21年度及び平成22年度にかけ、道路幅の整備を実施した。知多半島道路から高根台までの区間は、待避所を設けた。

問 町道に樹木がはみ出しているが、地権者との折衝は。

折衝は。

答 再度伐採の要望を書面で依頼する。

問 高根台入口(南)だけでなく、樹木の伐採はできないか。

答 高根台入口の南斜面の緑地帯は、竹を伐採する。

問 宮津保育園の交差点に信号機の設置を。

答 変則5差路の交差点のために信号機の設置が困難である。運転手に注意喚起できる方法を検討する。

問 狭あい道路の防災上の危険対策は。

答 住民の方の協力と国の補助制度を利用した狭あい道路の解消に向けた制度づくりをしている。

TPP問題

懸念について

問 TPP参加に対して阿久比町としての意思表示は。

答 全国町村会として参加反対を決議している。

問 阿久比町での農業・

工業・商業・医療等のメリットとデメリットは。

答 海外の安い品物が大量に流入することによりデフレの加速、企業収益の減少により、国民生活の様々な分野で影響が懸念されている。

問 農畜産物への影響は。

答 米、麦などの穀物のほか畜産物は特に大きな影響を受け、生産が激減する。

問 日本としての食糧自給率を高める施策は。

答 戸別所得補償制度の活用により、小麦や大豆などの自給量拡大や米粉、飼料用米の作付を推進している。

問 TPPに参加した場合、豊かな田園風景が変貌すると思われるが、対策は。

答 中心的経営体に農地の集積を図るため「人・農地プラン」を策定し、新規就農者の掘り起こしを進めている。

新庁舎建設の基本設計

パブリックコメントを実施



新美 秀夫 議員

新庁舎の建設は、庁舎整備の基本方針を理解して、町民が安心して利用できる機能的な複合庁舎になることを望んでいる。そこで次のことを伺う。

問 基本設計の最終決定は、いつ、どのように行うのか。

答 1月にパブリックコメントを実施、3月末までに完了する。

問 概算事業費約30億円は、基本設計のどの段階で検証するのか。

答 基本構想策定時より具体的な配置計画、階層構成などを検討し、パブリックコメントの中で示す。



町営プールから役場庁舎を望む

問 新庁舎建設は、業務を行いながら進めると思うが、来庁者の通路と駐車場と工事用通路はどのように考えるのか。

答 工事の進捗に伴い、作業エリアと来庁者駐車場が変化する。来庁者用と工事用車両の出入り口は分離し、来庁者の動線と工事用車両の交錯をできるだけ回避し、安全確保を図る。

問 町営プールを今後どのようにするか。

答 一般開放は、平成25年度までとなる。その後は開放校・期間等を検討していく。

事業仕分けは

状況を総合的に判断

事業仕分けは、仕分け人が事業の判定をし、今後の行政運営に反映することだと思う。そこで次のことを伺う。

問 仕分け人の選定基準は。

答 住民目線の事業チェックに重点をおき、町内在住・在勤で各分野の知識経験者5名と、住民参加の機会として公募委員3名とした。

問 仕分け対象事業の選定方法は。

答 町内部の事務改善委員会が26事業を一次選定し、その中から10事業を、事業仕分け委員会が選定した。

問 事業仕分けの結果は今後どのようにするのか。

答 貴重な仕分け結果、意見を参考にして、町の状況を総合的に判断しながら町政運営を進める。



事業仕分けの様子



鈴木 一夫 議員

平成25年度予算の概要は

60周年記念事業など

来年度も大変厳しいものと予測されるが、以下7点を伺う。

問 一般会計予算の総額は。

答 現時点では具体的な数字はできていない。

問 国県の支出金はどう予測するか。

答 国・県とも厳しい財政状況であると認識する。

問 2款総務費から10款教育費までの主な事業内容と目玉は。

答 新庁舎建設事業、住民税1%町民予算枠事業、町制施行60周年記念事業などが重点事項。

問 自主財源確保のために努力した点はあるか。あるとすればその内容は。

答 短期的にはホームページのバナー広告、自動販売機の設置入札など。

問 予算編成において特に苦慮している点は。

答 厳しい財政状況だが、住民サービスの質を低下させることなく、各種施策を継続する。

問 個人町民税の納税義務者数と一人当たりの平均納税額の予想は。

答 個人町民税の納税義務者数の見込みは、1万3200人、一人当たりの平均納税額は、約10万9900円を予想している。

問 特別会計における主な事業と目玉は。

答 下水道事業の面整備はほぼ終了。水道事業の第3期拡張事業は継続する。

英比学区3保育園の今後は

城山は継続、英・北原は休園

英比保育園に統合し発足することが変更されたことについて以下5点を伺う。

問 廃園予定の城山保育園を25年度以降も継続開園する理由は。

答 町内の児童数が増加しており、町内の6保育園では、平成26年度以降の園児の受け入れが難しいため。

問 継続開園をすることにより、コスト増はどうか。

答 人件費は今年度予算より少なくなる。施設維持管理費は約180万円。

問 本町保育所運営審議会に諮問し答申を受けたその内容は。

答 平成25年度以降も城山保育園を継続開園し、英及び北原保育園は休園する。

問 結果的に見通しの甘さ、計画の甘さだと思いが、その責任はどうするのか。

答 児童数の急増を予想することは、非常に困難であった。

問 英、北原保育園を休園すると、その管理等費用はどうするのか。

答 2保育園で約32万円と見込んでいる。



建設中の英比保育園

「ちょっと気になること」や「こんなこと」

検討する



渡辺 功 議員

常に住民の視線に立つ行政が求められるが、果たして役場に来る町民に親切でわかりやすい対応となっているだろうか。

問 戸籍・住民票・証明交付申請書の『使用目的』欄は、必要ないのでは。

答 本人等からの請求の場合は、使用目的の記載は原則として必要ないが、利用目的にあった証明等を交付するためにお願いしている。

問 婚姻届記入例の一部を見直しては。

答 婚姻届の記入に「証人の欄がある。二人の署名が必要であるが、記入の見本には※「証人となる人は成年の男女であればどなたでもよい」と記載され、記入例には成年男女の名前が書かれている。男女を問わないのであれば、『成年であればどなたでもよい』にすれば迷わないのでは。

答 誤解を生じないように

に記載例を「20歳以上の証人2人が必要になります。」と改める。

問 町制60周年を機に、住所表記から「大字・字」を取ってはどうか。

答 いろいろな意見・考えもあるが、大字・字を町制60周年を機に取る考えはない。

問 宮津保育園前交差点の信号機設置は。また、宮津山田集会所入り口交差点の信号機設置は。

答 変則5差路の交差点のため、信号機設置は困難。カラー舗装の実施を検討する。

問 白沢台団地に向かう交差点の信号機設置は。

答 県道の交通量が多いため、交通渋滞が今以上に発生すると思われるので困難である。

問 家具転倒防止等の出前講座を実施しては。

答 防災ボランティアの協力を得て、要望があれば出前講座を実施する。

問 宮津保育園園庭の擁壁に壁画を描いては。

答 壁面緑化に適した植物を植栽することを含めて良好な環境整備を検討する。

問 公立保育園の保育環境（延長保育、乳児保育条件）を統一しては。

答 来年度の乳児保育は4保育園で同じ条件で実施する予定である。延長保育は城山保育園で実施の予定はないが、今後のニーズを見て検討する。

問 阿久比インター近郊に「道の駅」施設をつくっては。

答 阿久比インター周辺では、道の駅の要件を満たすことが難しく、事業としての採算見込みや費用対効果の検討も必要である。

問 スポーツ村に温泉を掘り、町民の憩いの場にしては。

答 本町周辺には、民間の天然温泉やスーパードームが多く、温泉掘削は考えていないが、阿久比スポーツ村の幅広い利用を考えることは、有意義な視点と考えている。

問 小学校、中学校の教室に緊急地震速報が流れるようにしては。

答 平成20年度に各小中学校に配備した。



宮津保育園園庭の擁壁



都築 重信 議員

工業用地の確保を

自主財源として

安全で住みやすく、高齢者も暮らしやすい町となるために、若い人が定着することが必要と考える。企業誘致の現状と、今後の工業用地の確保について伺う。

問 工業用地の確保は必要か。

答 自主財源を確保して、福祉増進、地域活力の向上を図る。

問 今までの企業誘致で確保できた面積は。

答 草木、草木東部、南部、中部の四地区合計で58・2ヘクタールの工業用地を確保している。

問 企業の製造品出荷額は、どのような推移か。

答 平成元年には19億9千万円であったが、平成2年には、453億円に増加している。平成20年には704億円に達したが、平成22年には、418億円あまりとなっている。

問 町の昼間人口は、どう推移しているか。

答 平成17年国勢調査では1万9918人であったが、平成22年には2万2384人となった。増加率は、愛知県で一番高い。



建設中の日成電機

阿久比町では放射能汚染は大丈夫と考えられるが、放射能は自然界に存在し、また事故等によってばらまかれる。住民の安心と安全のために町の現状を伺う。

問 阿久比町内の放射能汚染はゼロか。

答 身体への影響はないと考えている。

問 町内で放射能のデータは取っているか。

答 平成23年12月1日から毎月3回測定している。

放射能汚染は

測定値は安全

汚染地域への立ち入り禁止



福島現状



手つかずの農地

問 町内の工業製品、農産物は大丈夫か。

答 工業製品は、輸入国が放射線量の基準を設けているため、測定結果を提示して取引を行っている。また、町内の農産物は、放射線量が身体への影響がないレベルであり、安全と考えている。

問 町外からの工業製品、農産物は大丈夫か。

答 町外の工業製品については、輸出品と同様の検査がされており、農産物については、食品中の放射性物質の基準が定められているため、安全性に問題はない。

城山保育園の継続はなぜか

児童数の急増に対応



澤田 道孝 議員

問 英・北原・城山保育園を一園に統合し、英比保育園を新設するという当初の計画が撤回されたのはなぜか。

答 児童数が急増しているため、来年度保育を実施する6保育園では、平成26年度以降の園児の受け入れが難しいことが予想されるため。

問 東部地区に大規模住宅開発「陽なたの丘」が分譲され、5歳以下の児童数が急増したが、今後の対応は。

答 宮津保育園に保育室を4クラス増・改築するとともに、耐震に問題のない城山保育園を来年度以降も継続開園する。

問 廃園予定の3園のうち2園が休園とされたが、今後の予定は。

答 今回実施した児童数の人口推計以上に、また、推計より早く児童数が増加した場合に対応するため。



継続が決まった城山保育園

問 わくわくアイデア事業、わくわくコラボ事業の実施予定と、その課題は。

答 熱意と創意工夫あふれる企画提案を多数いただき、9月15日の公開ヒアリング審査を経て、町が実施する「わくわくアイデア事業」7事業と町民活動団体が実施する「わくわくコラボ事業」18事業が決定した。

現在、平成25年度の事業実施に向け、よりよい事業展開と多くの方に参加いただける方法を実施団体と調整している。

1%町民予算枠事業は
25年度に事業実施



沢田 栄治 議員

防犯灯の維持管理は

今後8年でLED灯化予定

町民が今以上に防犯灯の重要性に興味を持ってもらうために伺う。

問 防犯灯は町内何カ所設置されているか。

答 2381基。

問 年間何基増設しているか。

答 30基。

問 LED電球の設置数は何基か。

答 99基。

問 年間の球切れ故障などは何件あるか。

答 680件。

問 年間の交換などで費用はどのくらいか。

答 639万4174円。

問 年間の電気料金はいくらか。

答 890万9833円。

問 蛍光灯とLED電球の電力使用量の差は。

答 LED電球の方が、月110円安価である。

問 今後はすべてLEDの防犯灯に交換予定か。

答 水銀灯、ナトリウム灯以外は、LED防犯灯

に交換する。

問 何年ですべてを交換する予定か。

答 8年後にLED防犯灯に全て交換できると考える。

問 電力会社にはどのような申請をするべきか指導しているか。

答 電気使用申込書を、提出するように指導している。

問 LEDの防犯灯に、すべて交換した場合のコストについて町の考えは。

答 防犯灯である蛍光灯と、LED灯の10年間の使用を試算するとLED防犯灯の維持費が安価となる。



LEDの防犯灯

専任指導保育士の設置を

今後検討する

現在、公私合わせ8園80人近い正規の保育士がいる。町保育協議会が今年度をもって解散となり、保育の重要性、又その質を高めるために保育士の指導について伺う。

問 任意団体の町保育協議会とはどのような会か。

答 保育従事者相互の連絡及び調整を保つこと等を目的に設置された任意団体で、保育従事者の研修及び指導並びに福利厚生等の事業を行っている。

問 本年度で町保育協議会を解散との報告をいつ受けたか。

答 平成24年2月の役員会で報告があった。

問 近隣市町での専任指導保育士の現状は。

答 本町と南知多町以外の8市町で専任指導保育士が主管課に配属されている。

問 子育て支援課に専任指導保育士を新規に置くべきと思うが町の考えは。

答 子育て支援課に専任指導保育士の配属を今後検討する。

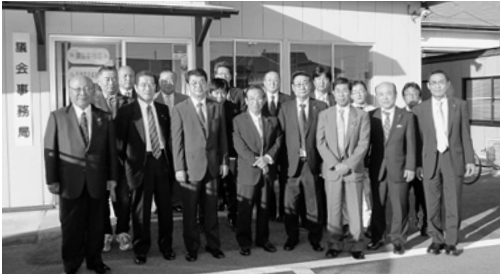


視察研修報告

震災復興と災害対策

宮城県亶理町
平成24年10月9日・10日

総務建設委員会



庁舎は被災後解体された。
仮設庁舎の前で（亶理町職員と共に）

仙台空港に到着後、周辺の被災地の現状を視察しながら、亶理町役場へ向かった。宮城県南東部、阿武隈川と太平洋に面した農業を中心とした産業構造の町。人口3万3千人。町の中央に常磐自動車道が走り、津波被害で生と死を分けた道と言われていた。

当委員会からの調査事項に詳細にお答え頂き、震災直後から現在までの進捗状況、災害対策と震災復興について学ぶことができた。

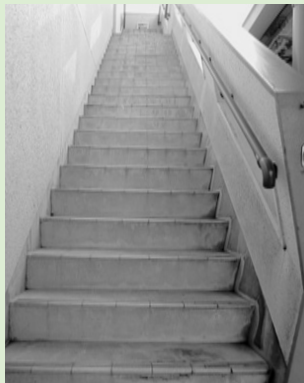


被災建物 現在も随所に残されている

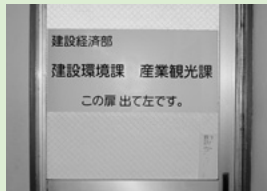
亶理町では、平成23年末に策定された復興計画のもと、復興財源とマンパワー（派遣職員）の確保、企業誘致、雇用など今後の課題に向けて着実に取り組まれている。

復興途中での視察の受入に感謝し、「新生亶理町」の早期復興と発展を願う。
（竹内 一美 議員）

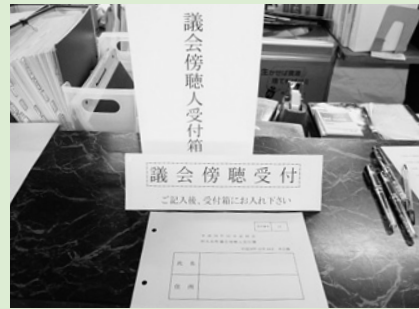
傍聴の手続きの流れをご紹介します



②左手の階段を上ります。



この看板の扉を出ます。



①総務課で受け付けをします。



④傍聴席からの眺めです。



③扉を開けてお入りください。

追跡レポート 2年前のあの答弁はどうなった!!

平成23年1月15日発行
第148号より

Q 町民が決める
予算枠の目的、
基本的な考え方、実
施の時期は。

A 個人住民税
の1%を予算
枠とし、地域の二
重に合った税の有効
な活用のため、使
道を町民の皆さまに
提案してもらい、町
民の皆さまの想いを
かなえるための事業を、
平成24年度から実施
したい。



1%予算枠公開ヒアリング
(わくわくコラボ事業)



住民参画と協働のまちづくりを推進するための「住民税1%町民予算枠制度」には、熱意と創意工夫あふれる企画提案を多数いただいた。

9月15日の公開ヒアリング審査では、熱のこもった意見交換が活発に行われ、町が実施する「わくわくアイデア事業」7事業と町民活動団体が実施する「わくわくコラボ事業」18事業が採択された。

平成25年度の事業実施に向け、よりよい事業展開ができるよう調整している。

Q 「事業仕分け」
にどのような
取り組みでいくのか。

A 住民の皆さま
まにも町政に
参加していただき、
より良い阿久比町を
共に考えながら事業
仕分けを実施できる
よう、今後、事業仕
分けの手法、組織、
体制作りなどを調査・
研究しながら、住民
参画、協働のまちづ
くりを目指す。



住民に対して事業の説明責任を第一の目的として、一般公開で8月2日に事業仕分けを実施した。

町政への住民参加の機会づくりとして仕分け委員8名の内、3名を公募委員とし、

住民に対して事業の説明責任を第一の目的として、一般公開で8月2日に事業仕分けを実施した。

10事業を住民目線でチェックしていただいた。

今後は、判定結果や意見を参考に、町の状況を総合的に判断して町政運営を進めていきます。

学校紹介



草木小学校

く… 苦しいことにもがんばる子
 さ… さわやかなあいさつのできる子
 ぎ… 気づき考え実行する子

本年度、草木小では「もくもく清掃」「あいさつ運動」「安全なふるさとづくり」などの活動を通して、「考える子」「がんばる子」「すなおな子」の育成をめざしています。

● もくもく清掃

おしゃべりをしないで清掃に取り組む「もくもく清掃」に力を入れていきます。子どもたちは、自分の名前を記した清掃道具を大切に使い、十五分間、分担区域を一生懸命



「もくもく清掃」に取り組む児童

に清掃します。

年間を通して全校で取り組み、子どもたちが汚れている箇所に気づき、自らすすんで清掃するよう、教師も指示し過ぎないように心がけています。

● あいさつの花道

幼保小中高のあいさつ運動時には、ペア学年が登校する児童を迎える「あいさつの花道」活動をしたり、児童会主催であいさつビンゴを行ったりしています。草木小学校のいたるところで、さわやかなあいさつが響いています。あいさつ運動以外の日は、校長先生やPTAの方々といっしょに交わしています。

● 安全なふるさとづくり

安全なふるさとづくりをめざして、6年生は草木地区の危険箇所を地図にまとめて地域に発信しました。このマップは、事件・事故が起きそうな場所や災害時に危険な場所を子どもたち自身が調べ、まとめあげたものです。自ら考え、意見を交換する中で考えを深め、実践できる子どもの育成に向けて日々の教育活動に努めています。



ハザードマップの発表

編集後記

今議会において、議員発議により「議員定数を定める条例の一部改正」が可決された。次の選挙から16人から14人、8年ぶりの改正となる。議会運営の効率化を求める民意の反映か。

編集委員会も新年を迎え、こころ新たに、さらに読みやすい「議会だより」を目指します。無駄を省き、効率的に。

- 議会だより編集特別委員会
- 委員長 二井 登喜男
 - 副委員長 沢田 栄治
 - 委員 久保 秋男
 - 委員 竹内 一美
 - 委員 都築 重信

次回定例会

3月5日(火) (開催予定)
 午前10:00～

皆さんの傍聴をお待ちしています

問い合わせ先

☎ 48-1111
 FAX 48-1711

議会事務局へ